

# しゅうれんかい (修練会) からのメッセージ

公益財団法人豊島修練会 2017年9月9日号 (通算第24号)

## 子どもたちへ (小さなお子さんには読んであげてください)

西武線の電車の中で、珍しくスマホをしないで数人の子どもが楽しそうに話していました。次の駅に近づきました。一人の男の子が「乗り降りする人の邪魔になるから、出入口を開けよう！」と言いました。全員、さっと端によけました。

東久留米駅から成美教育文化会館の方に向かって歩いていたら、前から来た小学校低学年の女の子が3人こちらに向かって歩いてきました。近づくと、サッと高齢者の私に道をゆずってくれました。「ありがとうございます」と言うと、ニコリ笑って「気をつけてね!」と答えてくれました。

今頃の子どもたちは親切で、しっかりしている。今日はとてもいい日になりそうです。



## 大人の皆様へ (パパ&ママ、ジジ&ババ)



西武バスの東村山駅西口行に、釣りに出かけるらしい男性が乗っていました。釣り道具と日よけにする大きな傘と、コンビニの弁当を持っていました。その傘を通路に向けておいてあるので、降りる客の邪魔になっているのですが、当人は全く気づきません。他の客に「傘が邪魔になっていますよ」と言われた時は直すのですが、すぐに元に戻ってしまうのです。

西武池袋行きの電車の中で、女性が手提げから折りたたみの傘の柄を出して座席に座っていました。隣に座ろうとした乗客に触れると、「すみません」と謝ります。ちらっと見て、そのままです。隣の乗客が降りて、次の人が乗ってくると、同じことが繰り返されていました。

認知症には見えませんが、どうしたものでしょうか。「他人(ひと)の振り見てわが振り直せ」と言いますから気を付けます。

## 学校の先生がたへ

校内研究に引っ張りだこで、30年来の友達TT先生とYK先生から聞いた話です。なんと、全く同じ内容なのに驚きました。

<その1・どの子にも公平であれ>教室に入って気になることは、子どもたちの人間関係です。授業の始まる直前はどの教室も何となく落ち着きがなく、子どもの自然な姿が出ます。その中で、特定の子どもがいじられたり、バカにされたりしていることがあります。先生は気付いていないのか何も注意しません。担任の先生が、「駄目なこと」は「どの子がやっても駄目」と言う毅然とした、公平な指導のできない教室に多いそうです。心したいものです。

<その2・授業力の向上>研究授業(観察授業)で、「余りにも…」と指導力の素朴さにびっくりすることがあるそうです。しかも、それに気づかず、子どもが分からないと「この組の子どもは、考えない…」とか「理解力が低い…」と子どものせいになっていることが多いそうです。子どもが分からなかったら自らの力不足に気付き、「分かるように指導できる授業力の向上」に努力することを、子供と保護者に代わってお願いします。

(YAYU)



★備考★[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」や「至楽荘」の利用の仕方、「成美教育文化会館」の会場貸出など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。